

リハビリテーション科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 厚生労働省科学研究「こころの健康科学研究 補足運動野反復磁気刺激による大脳基底核疾患治療の開発」（平成 17 年～19 年度）に対する追加データ収集に関する後ろ向き研究

[研究機関] 北海道大学病院リハビリテーション科

[研究責任者] 生駒 一憲（リハビリテーション科・教授）

[研究の目的]

平成 17 年～19 年度に実施された厚生労働省科学研究「こころの健康科学研究 補足運動野反復磁気刺激による大脳基底核疾患治療の開発」において、パーキンソン病患者を対象として、脳の補足運動野という部分に頭部表面から反復して磁気刺激を行う試験を実施しました。その結果、実際に磁気刺激を行った対象群はシャム刺激（偽刺激）という実際には磁気刺激が行われていない対象群に比較して、パーキンソン病の状態を評価する UPDRS と言われる評価指標の総得点および同様の part III と言われる評価指標の得点の改善が認められました。今回、パーキンソン病患者の症状改善用の装置を開発するにあたり、平成 17 年～平成 19 年度の研究に関する情報を再調査する必要が生じたので、疫学研究と言われる研究を実施します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 17 年～19 年度に実施された厚生労働省科学研究「こころの健康科学研究 補足運動野反復磁気刺激による大脳基底核疾患治療の開発」に参加された方

●利用するカルテ情報

外来患者か入院患者かの別、治療前5年間の薬の服用状況及び薬以外の療法の有無、合併症、病歴、磁気治療開始前半年以内の幻覚、妄想、錯乱及び異常行動の有無、治療中の症状変化、治療評価時の患者の状態、併用して飲んでいる薬あるいは治療の有無、治療時の薬を飲んでからの経過時間

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院リハビリテーション科 担当医師 生駒 一憲

電話 011-706-6066 FAX 011-706-6067